

二二五教授総団交に向け

管理系系長等部の学生結集、古田と古田及勤理事会は、日大教授の
若くは文理字部の結集と共に完全な暴行を開始し、より一歩進歩を日大
及勤理事会を破壊せんとしてゐる。

そして凶暴初力は十の年の安部条約締結条件の爲すべからざる事
ありはすべし、人民の手争いを破壊せんとして日夜手争う学生、手争う人民
に對し、徹底的なる彈正・庄殺形態を行はせしむる警察國家への移
行を開始した。

そして自民党平末久政権の腐敗は自治評をもたせたり、もはや彼等
の黒いペールを待たせしむるのみならず、いかばす事か、不可能と化した。

を護る所の教育警察権力行使なくしては、人民の生活、人民の平和
法、秩序は保持出来ぬことになりました。

この種な事も彈正行為は、今後学生運動の奇功道は拍別学生手争
では絶対に勝利し得ない。

この教員に立脚したみ故に、十二日大、東大、全国学園手争いの
連帯を空したし、十二日の日大手争い勝利、労農、市民集会があった。
「大争奪」自体この種な要素を最も含有した所の学園手争いであ
るべきである。

しかるに、日大手争いを全人民の手争い、市民運動化なくしては
この日大反勤理事会、古田及勤理事会は破壊される事なく、より
強固な形として再編され、永続化するであろう。

手争う学生、都民のみならず、古田、古田反勤理事会を再度、学生
大衆の面前に引きずり出すべく、より一層強固な団結と再度組
織化を計り、前進しようとはしないか。

この種として、古田、古田反勤理事会を、護り非人間的に奮大化し
てゐる所か、無能日大全教授に對し徹底的なる責任追及と訂約
してはならないか。(特に十二に勤理事会を表面化した上野山教授)

十二日、日大教授能団交に向け、今日の、理系系長等部の結集を
機会を捉へ、徹底的に再度組織せよ。

・教授会長の犯罪性をも暴露せよ。

昭和二十二年十二月二十二日